

氏名	松本 久美子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5 7 7 9 号
学位授与の日付	平成30年6月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Enhancement of lymphatic vessels in the superficial layer in a rat model of a lymphedematous response (ラットのリンパ浮腫反応モデルにおいて、浅層のリンパ管は増加する)
論文審査委員	教授 大塚愛二 教授 大内淑代 教授 土井原博義

学位論文内容の要旨

リンパ管の解剖はいまだ完全には明らかになっていない。また、リンパ浮腫におけるリンパ管の形態学的、組織学的な病態も解明されていない。今回ラット後脚を用いて、浅層と深層に区別したリンパ管分布を解析し、浅層に比べ、深層に多くリンパ管が分布していることが明らかとなった。また、ラットの一時的な浮腫モデルを後脚の切断・再接着術により作成し、浮腫の発症から治癒の過程において組織学的に観察した。浮腫は術後 3 日にピークとなり 10 日には回復した。この間、浅層のリンパ管数は有意に増加したが、深層のリンパ管数は増加しなかった。リンパ管の浅層と深層で急性浮腫に対する反応が異なることを発見した。このような浅層と深層のリンパ管の解剖と動態の違いを踏まえてリンパ流の回復に関するデータを蓄積することは、将来的にリンパ浮腫の治療戦略の一助となることが大いに期待される。

論文審査結果の要旨

本研究は、ラット後肢を用いて、筋膜より浅層と深層に区分したリンパ管分布を免疫組織化学法、インドシアニン・グリーン/蛍光リンパ管造影法及び色素直接注入法等により解析したもので、浅層より深層にリンパ管が多く分布していることを明らかにした。また、後肢を切断・再接着により一時的浮腫モデルを作成し、組織学的な解析を行ったところ、浅層のリンパ管は有意に増加したが深層のリンパ管は増加しないということを明らかにした。このような、浅層および深層リンパ管の差異を分析することは、リンパ浮腫の治療戦略を考案するうえで重要な知見をもたらすもので、この分野において価値のある業績と認められる。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。